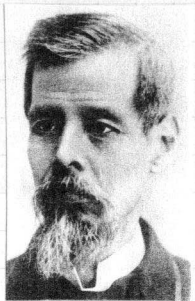


陸奥宗光 むつよし 外交官、政治家。天保十五年七月七日紀伊國生乳。明治二十年八月二十四日没（六四―七五）。幼名牛麿（丸）、通稱中村小次郎、伊達陽之助、陸奥小次郎、陸奥源一郎、陸奥陽之助。號六石、七峰、福堂。伊達宗廣（千廣）の六男。又久二年海軍操練所に入りて勝海舟の指導を受け、翌年坂本龍馬の海援隊に加はる。慶應四年外國事務御用掛、文いで構津・豊崎・兵庫各縣知事、明治八年元老院議員。西南役で下獄し、釋放後歐米巡訪。のち駐米公使、農商務相、衆議院議員、樞密顧問官、外相等歴任。一十七年日英通商條約を調印して法權を回復し、同時に清朝との開戦外交を推進。翌年日清講和會議に伊藤博文と共に全權となりて三國干渉の對處と、酒を獲て辭任。二十九  
年雜誌『世界之日本』を發刊した。怡齋。

著書『福堂遺稿』（明治四十年八月二十四日中田敬義編刊）、『怡齋陸奥宗光遺稿』（陸奥廣吉編、昭和四年一月十日岩波書店）、『蹇蹇錄』（昭和七年十月二十五日大阪・小藪一彌編刊。のち、八年九月五日岩波書店「岩波文庫」、復刊・十六年一月二十一日岩波書店、中塚  
剛校注 訂『蹇蹇錄』五十八年七月十八日「岩波文庫」）等。

文献に、渡邊修評「郎著『評傳陸奥宗光』」（明治二十年二月二十六日同文館「評傳」）、紫瀾漁長著『陸奥宗光』（明治二十一年六月二十三日博文館）、信天清二郎著『陸奥宗光』（昭和十二年六月十九日白揚社「人物再検討叢書」）、渡邊幾治郎著『陸奥宗光傳』（昭和十六年十



一月十三日改造社「改造文庫」）、国立国会図書館参考書誌部編『陸奥宗光関係文書目録』（昭和四十二年二月二十日国会図書館「憲政資料白

録」)、  
陸奥宗光伯一小伝・年譜・付録文集」(昭和四十一年十一月二十日陸奥宗光伯七十周年記念会編刊)等。

